

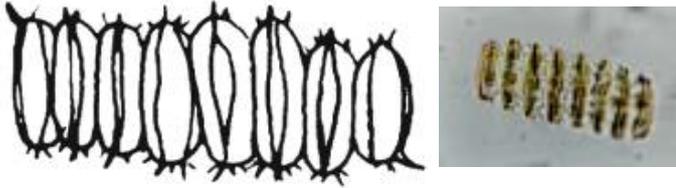
瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第15報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成14年7月8日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

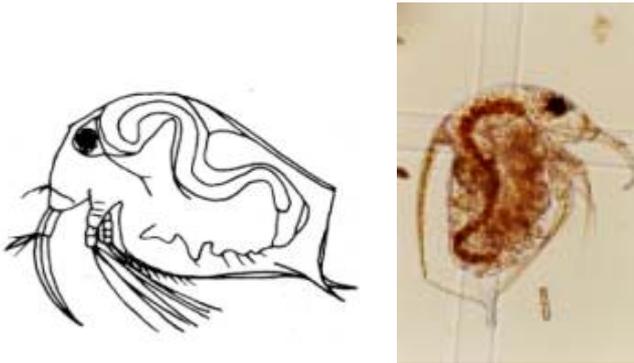
植物プランクトン第1優占種



Scenedesmus circumfusus
(イカダモ)
緑藻綱

細胞は両端に1～2本の短い突起がある。細胞の中央に縦に一列に歯列があり、両端細胞は外側面にも歯列がある。

動物プランクトン第1優占種



Bosmina longirostris
(ゾウミジンコ)
甲殻類

体は丸みを帯び、吻端の第4触角が長いのでゾウミジンコと呼ばれている。

コメント

植物プランクトンの総細胞数は先週に比べ減少したが、大型緑藻に属するヒザオリモ (*Mougeotia* sp.) が最近の調査で観察されるようになった。ヒザオリモの大部分の種は付着性である。動物プランクトンは、ゾウミジンコが再び増加した。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	<i>Bosmina longirostris</i>	8200

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	<i>Diaphanosoma brachyurum</i>	60

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

(2) 植物プランクトン

平成14年7月8日

第15報

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	1		
(藍) <i>Aphanizomenon sp.</i> *	1		
(藍) <i>Anabaena spiroides var. crassa</i> *	1		
(珪) <i>Melosira varians</i>	20		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis var. pusilla</i>	10		
(珪) <i>Synedra acus</i>	1		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	20		
(緑) <i>Scenedesmus circumfusus</i>	40		
(緑) <i>Mougeotia sp.</i>	23		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	4		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	10		
(藍) 藍藻綱	3	2.3	3.1
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	31	23.7	4.5
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	97	74.0	92.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	131	総体積	1.07E+06
種類数	11	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。

参考